

# 神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

## Foreword

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2006-06-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木村, 榮一, Kimura, Eiichi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/617">https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/617</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



---

## 序

第二次大戦後、焼け野原となった神戸市に国際文化教育の府を創設しようという気運が生まれ、当時の中井一夫市長の献身的な努力のおかげで1946年に文部省の認可が下り、現在の本学の前身に当たる神戸市立外事専門学校が誕生した。1949年大学に昇格、それに伴い名称も現在の神戸市外国語大学と改められて現在に至っている。

その間に、

1953年 第二部設置

1962年 イスパニア学科増設

1967年 大学院外国学研究科（修士課程）設置

1980年 日本語学課程設置

1986年 神戸市灘区楠ヶ丘の旧学舎から現在の学園都市に移転

1987年 学部に国際関係学科増設、第二部に司書課程および学校図書館  
司書教諭課程を設置

1991年 大学院修士課程国際関係学専攻、日本語日本文化専攻増設

1996年 大学院外国語学研究科文化交流専攻（博士後期課程）開設

といったように本学はこの60年間、阪神・淡路大震災を始めとするさまざまな困難に遭遇しながらも順調に発展を遂げ、現在では小規模ながらも日本を代表する外国語大学にまで成長してきた。

---

---

創設六十周年にあたる本年はさまざまな記念事業が行われており、その一環として本論文集も企画された。また、来年度からは公立大学法人神戸市外国語大学として新たな一步を踏み出すことになったが、法人化に向けての改革の理念として①国際的に通用する人材の育成 ②高度な研究・教育の推進 ③地域貢献 ④国際交流 ⑤柔軟で機動的な大学運営という五つの目標を設定し、それに向かって全学をあげて取り組んでいる。目標の②として高度な研究・教育の推進が挙げられているように、法人化後も大学にとっては研究・教育がもっとも重要な柱の一つであることは言うまでもない。今後とも教員が意欲的、かつ積極的に研究活動を行い、海外の情報を収集、紹介する一方、その背後にある歴史、社会、文化を比較分析することによって新たな知見を開き、その研究成果を国内外に発信して、従来「受信型」であった外国学研究をより高度で「発信型」に高めていくことが望まれる。

そのためにも教員の活発な研究活動を学外に広く発信すると同時に、海外の研究者との交流を深めてさらなる研究の発展を達成するよう期待される。

2006年6月1日

学 長 木 村 榮 一

---